

国際ロータリー第2610地区

第61年度 D.2610 ROTARY CLUB OF KOMATSU



小松ロータリークラブ会報



2015～2016年度 国際ロータリーテーマ

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

- ◆会 長：上杉 豊明
- ◆会長エレクト：杉本 雅規
- ◆幹 事：徳田八十吉
- ◆副 会 長：橋浦 隆

事務局 〒923-0957 石川県小松市本折町33 小松グランドホテル2F TEL.0761-24-1340・FAX.0761-24-4700
E-mail:office@komatsu-rc.jp URL:http://komatsu-rc.jp/



小松ロータリークラブ 2015～2016年度 会長 上杉 豊明

昔、ある村に灌漑用の大きな溜池がありました。

或る年の夏、幾日も日照りが続いたので、池の水門を開けて、田畑に水を入れましたが、途中で水が流れなくなりました。そこで、村人が集まって、泥田の土を掘り起こしたところ、中から一体の石の地蔵が出てきました。「これはもったいない」と、洗い清めた地蔵を村の長の屋敷に運んで、床の間に安置したのですが、ある夜、その長の夢枕に地蔵が現れて、「誠にすまんことであるが、私を泥田の中に戻してはくれまいか」と訴えたのだそうです。不思議なことがあるものと、早速村人を集めてその地蔵をもとの泥田の中に埋め戻したということです。

さて、この昔話の中で、地蔵がもとへ戻して欲しいと訴えた「泥」とは「世間」或いは「家」を指しています。それは生々しい現実生活を強いられる世界であり、実に厄介な場所でもあります。我々が流す喜怒哀楽の涙の全ては、この「家」の中にあります。そういう厄介な「世間」を捨て「家」を離れて独り歩む道を「出家」道といいます。

今から800年の昔、9才でその厄介な「家」を捨て「出家」の道を歩みながら、やがて29才の春、独り静かに山を下り、再び「世間」に身をおいて「家」の人として生涯を歩み続け、「家」の中にこそ、真のすくいのあることを自ら体現された方があらわれました。その方の名を親鸞聖人といいます。ここに仏教史上はじめて「在家仏教」の教えとその道が開かれたのです。

★正信偈・唱和

卓話

法話「耳・口・心」

上杉 豊明 会員



例会報告

2015年8月6日(木)
日末町 聖徳寺会員数 59名 出席数 30名
欠席数 29名 出席率 50.85%

ニコニコBOX😊

上杉 豊明

早朝例会、ご苦労様です。朝の一時、仏法に少し耳をよせて、一日のスタートになればと思います。

徳田八十吉

上杉会長、今日は良いお話をありがとうございました。初めて参加しました。何とか起きることが出来て良かったです。

2927回 2015年8月20日 例会

於：小松グランドホテル

卓話

「尊きいのちみつめて」

あいち交通犯罪死ZEROの会 代表
心理カウンセラー ライフサポートシャンティ 代表

佐藤 逸代 様

紹介者
岡田靖弘会員

私がこの10年間で感じたこと、考えたことなどを、皆様にお話させていただきます。
私には三人の娘がおります。長女は25歳、社会人として独立しています。三女は21歳、もうすぐ母親になります。二人の娘たちは、自分の人生を歩いています。次女有希は今年22歳です。ただ、彼女の人生は、今から10年前に閉ざされてしまいました。

平成17年7月17日、彼女は、歩行者にとって安全だと思える歩道上で交通ルールを守り、信号待ちをしている時に、交差点内で起きた2台の車の衝突事故の巻き合いにあり、命を奪われてしまったのです。ある日突然、なんの前触れもなく、自分より先に、娘の命が奪われるなどということ、私は、想像したことはありませんでした。有希との突然の別れは、悲しみだけではありませんでした。悲しみを抱えながらも、生きていかなければならないからの苦悩がそこにありました。想像を絶する苦しみが、一生続くとは思わなかったのです。

私は、有希との別れから何年もの長い間、自分を責め続けて生きていました。母親として、自分の命に代えてでも守りたかった娘の命を守れなかった。それは私が、母親失格、人間失格だからと責め続けて生きていました。なくならない自責の念を抱えている間は、長女と三女は、母親に頼ることができず、それぞれが深い悲しみと苦しみを抱えて生きていたのです。

娘たちにとっては、姉妹を失ったと同時に、母親も失っていたのです。家族の中でも分かり合えない苦しみを抱え生きていく。これが、一生続いていくのです。ですが、世論的には『交通事故だから仕方がない』という、周りからの理解を得られずに、さらに傷つき、苦しむということも何度もありました。交通事故は、突然『命』が奪われる悲しみ苦しみだけでは済まない。生きていく限り、生きているからこそその苦悩があるのです。

誰にも被害者にも加害者にもなってほしくない。皆さまの安心と安全をお祈りしています。

例会報告

メークアップ届

2015年8月20日(木)
小松グランドホテル

会員数 59名 出席数 41名
欠席数 18名 出席率 69.49%

7/9 第3回60周年実行委員会 上杉、中田一於、野尻、寺田、徳田、那谷、西、福島、橋浦、蓮井正樹、嶋田、澤矢
 8/2 60周年広報記念誌委員会 蓮井正樹、斉藤、高木 8/6 加賀RC 本村、寺田、中田一於
 8/8 地区米山記念奨学会委員会・クラブ米山記念奨学会委員長研修会 八十山
 8/10 小松シテイRC 本村、寺田、中田一於 8/11 山中RC 本村、数左 8/11 加賀RC 本村、数左
 8/12 第4回60周年実行委員会 湯浅外志勇、上杉、中田一於、野尻、杉本、西、福島、蓮井正樹、嶋田、橋浦、澤矢
 8/12 第2回ミニフォーラム 橋浦、原後、蓮井正樹、川腰、小林幹雄、宮城、西、中田一於、岡田、新滝、杉本、山本

ニコニコBOX☺

橋浦 隆

佐藤さま、遠路はるばる卓話にお越しいただきありがとうございます。萩原さま、平沼さまも、ご苦労様です。今後、益々のご発展をお祈りいたします。

徳田八十吉

佐藤様、本日は貴重なお話、誠にありがとうございました。大変心にしみました。これからもご活躍をお祈り申し上げます。8月お誕生日をお迎える皆様、ハッピーバースデー！新しい一年が素晴らしい一年となりますように。

岡田 靖弘

佐藤様、平沢様、荻原様、大変お忙しい中、お越し頂きありがとうございます。今後とも益々のご活躍をお祈り致します。

八十山和代

佐藤逸代様、本日は大切なお嬢様のつらい苦しみの卓話を胸がつまる思いで聞かせて頂きました。佐藤さんの終わること事ない悲しみとつらさ、そして残された家族の絆。どうか多くの皆様にお話をさせていただき、この世から交通事故が無くなる事を祈ります。米山奨学会に貴重なご寄付を12名の会員さんがご協力を下さり、本当に有難うございます。心から感謝しています。来月から「たのもし講」でくじ引きを10ヶ月間させて頂きますので宜しくお願い致します。私事ですが、今週の土曜日22日、午後4時15分～4時30分「新ふるさと 人と人」で15分間、私の特集が4Kで放映されます。是非見て下さい。

2928回 2015年8月27日 例会

於：小松グランドホテル

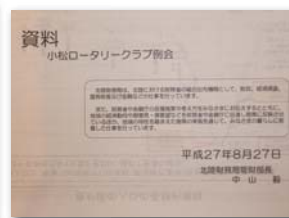
★各委員長報告 地区委員委嘱状伝達 中西 忠彦会員（日台親善会議実行委員会登録部会委員）

卓話

「地方創生について」

北陸財務局 管財部長

中山 毅 様



紹介者
斉藤 浩 会員

地方創生には、人口減少に対して何をするのかという問題意識が根本にあります。

日本の人口は、100年前（1905年）の4500万人から、2008年（ピーク時）の1億2808万人まで増加し、出生率等が現状のまま推移すれば、100年後（2100年）には5000万人に減少すると推計されています。一方、地域別では、東京や大阪といった大都市圏では今後も人口集中により人口が増加しますが、国土の5割以上では人口が半分以下に減少すると予測されています。

地方の人口減少は、都市部への人口移動が大きな要因ですが、特に毎年約10万人が東京に転入しており、その大半は10代後半～20代前半の若者です。問題なのは、東京一極集中に加え、東京の出生率が1.15と全都道府県で最も低いということです（全国平均1.42）。

人口減少を解決するには、出生率を引き上げることが最も効果的ですが、出生率が2.07以上にならないと人口が増加しないことも分かっています。

これらの状況を解決するために、政府は、2060年に1億人程度の人口維持を目指し、①出生率を1.8程度まで引き上げること、②地方と東京間での人口移動を均衡させること、③労働者の減少に対応するための、成長力の確保（2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度維持）を掲げた、「長期ビジョン」と、具体的な取り組みを「総合戦略」として作成し、各省庁の施策を総動員して対応することとしております。また、各自治体に対し、2060年頃にどのくらいの人口を目指し、そのためにどのような施策を実行するのかという、「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定を要請しており、現在各地で策定している最中です。

これまで、国があるべき姿を提示し地方はそれに倣うという政策がほとんどでしたが、今回の地方創生については、各自治体に任せるのではなく、住民や産業界の方々が自分たちの住んでいる街を将来的にどのような街にするのか、そのために地域の魅力を見直しどのように磨くのかを真剣に考え、そのための施策を実行していくことが求められています。

例会報告

2015年8月27日(木)
小松ブランドホテル

会員数 59名 出席数 42名
欠席数 17名 出席率 71.19%

メイクアップ届

- 7/30 60周年式典・企画進行委員会 福島、松多、山崎、山本、上出
8/19 小松RA 濱本
8/24 小松シテイRC 本村
8/24 短期交換留学生 帰国出迎え 上杉、徳田、蓮井正樹、橋浦、岡田、宮城
8/25 山中RC 本村 8/25 加賀白山RC 本村 8/25 小松東RC 中田一於
8/26 加賀中央RC 本村、澤矢

ニコニコBOX

上杉 豊明

中山毅様、本日の卓話ありがとうございました。地方創生のためのご尽力、宜しく申し上げます。短期交換留学、宮城友希乃さん、おかえりなさい。アメリカ留学で体験したことを、これからの生活に生かして下さい。

徳田八十吉

中山様、お忙しい所本日は卓話ありがとうございました。須村様、山本様ありがとうございました。

那谷 忠雄

「三代八十吉を偲んで、徳田門下生六人展」を中田会員、徳田会員のお力添えで開催することができました。8月26日が故人の命日でした。先生の偉大さがひしひしと伝わってまいります。是非松の家にお運び下さるようお願い致します。

斉藤 浩

本日は、中山部長様、須村様、山本様、ご多忙の中、卓話にお越しいただき有難うございました。益々のご活躍を祈念申し上げます。

宮城 敏子

中山部長様、いいお話をありがとうございました。8月24日8時50分、孫の友希乃が留学から無事帰って参りました。顔を見て感激しました。キャロライン宅では、とても良くしていただいて、時間が早くすんで行ったそうです。それもみんなロータリーのお陰です。ありがとうございました。家族一同感謝して居ります。それから、8月24日の夜、大勢の会員の方々お出迎えありがとうございました。

●短期交換留学生 宮城友希乃さん出迎え

8月24日(月) 於:小松空港



8月誕生祝い



2日 加登 康洋会員 9日 松山 仙治会員 29日 安藤 啓子会員
8日 八十山和代会員 23日 福島 徹会員 30日 吉田 直人会員

ニコニコBOXの年間達成目標 2,000,000円! ニコニコBOX8月末の累計金額 491,200円!